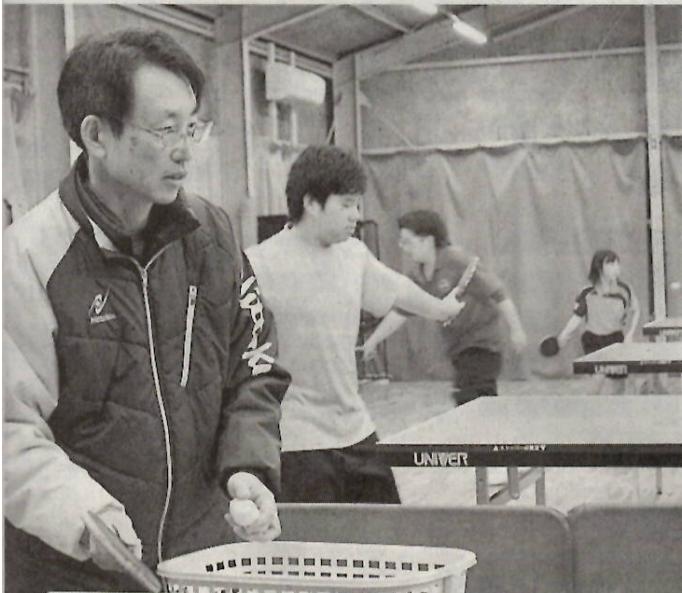


卓球の新星育て 元営業マンの夢



卓球の指導をする岡本篤郎さん(左端)
=鳥栖市桜町の鳥栖卓球センター

岡本篤郎さん(48)。転勤族の家で育ち、自身も転勤族の営業マンだった。小学生で卓球を始め、就職後の一時期を除きラケットを振ってきた。

全日本選手権の40代の部で全

国大会に出場したことある

双子の長女と長男が4歳だ

った2004年、アテネ五輪

に卓球の福原愛選手が15歳で

五輪初出場。その活躍を家族

が支えるドキュメント番組を

テレビで見て心が動いた。2

人の子を連れてクラブの門を

たたいた。

当時は松山市。その後も宮

城、愛知、岐阜などへと転勤

が続いたが、引っ越し先で評

判のクラブを探して親子で通

った。平日も勤務が終わると

練習場に直行し、コーチの指

導を見守り、子どもの自主練

習では球出しに付き合つた。

16年春、2人の子がそれぞ

れ別の卓球強豪高校に入学。

手が離れたのを機に「年齢的

に最後のチャンス」と早期退

職し「クラブを持つ」夢にか

けた。実家のある福岡県太宰

府市に近く、子ども向けのク

ラブがない鳥栖市を選んだ。

市主催の地域スポーツクラ

ブ「フィット鳥栖」に登録し、

中学の体育館を間借りして練

習開始。昨年12月、同市桜町

の運送会社の倉庫を改修した

「鳥栖卓球センター」の開業

にこぎつけた。広さ約250

平方㍍。コンクリートの床に

厚い板材を張り、照明も換

え、6台の卓球台を置いた。

現在は8歳から中高年まで

二十数人が一般とジュニアの

部に分かれて練習している。

鳥栖卓球センターは午前10

時~午後9時(日曜は5時ま

で)に営業し、月曜が定休。

問い合わせはセンターコンタクト

01775-5803(遠山武)

岡本さん 鳥栖でクラブ立ち上げ

まずは佐賀国体に選手出す

14歳の全日本王者が生まれるなど、卓球の話題が熱い。そんななか、頂点をめざす選手を育てようと脱サラした男性が鳥栖市内で卓球クラブを立ち上げた。これまで全国を転勤し、行く先々で強豪クラブに我が子を通させてきた。その経験を生かし、今後は地域の子どもの育成に力を注ぐ。

岡本さんは実業団などで選手・コーチ歴はないが、その経験を生かし、こうすれば強くなるという道を教えた。1月に日本体育協会公認の上級指導員の資格も取つ強みを生かしたいという。

「遠回りした分、様々な指導者を目の当たりにしてきた。

岡本さんは実業団などで

選手・コーチ歴はないが、

「11の県で卓球をしてきた」

強みを生かしたいという。

「遠回りした分、様々な指導

者を目の当たりにしてきた。

岡本さんは実業団などで

選手・コーチ歴はないが、

「11の県で卓球をしてきた」

強みを生かしたいとい

う。その経験を生かし、こうすれば強くなるという道を教えた

1月に日本体育協会公

認の上級指導員の資格も取つ

者を目の当たりにしてきた。

岡本さんは実業団などで

選手・コーチ歴はないが、

「11の県で卓球をしてきた」

強みを生かしたいとい

う。その絏験を生かし、こうすれば強くなるという道を教えた

1月に日本体育協会公

認の上級指導員の資格も取つ

者を目の当たりにしてきた。

岡本さんは実業団などで

選手・コーチ歴はないが、

「